

なるせダムニュース

平成30年12月 第48号



～ 希少猛禽類保護のために ～



イヌワシ・クマタカ調査委員会を開催

成瀬ダム建設予定地周辺は環境に恵まれた地域であり、またイヌワシやクマタカ等の希少猛禽類の生息が確認されていることから、事業を進捗させるためには自然環境との調和や生態系に十分配慮することが求められています。そのため、調査及び保全については、平成10年1月に学識経験者やワシタカ類の専門家で構成される「成瀬ダムに係るイヌワシ・クマタカ調査委員会」（委員長：小笠原 暁/秋田大学名誉教授）を設立し、指導・助言をいただきながら進めています。

11月13日、大仙市内において「成瀬ダムに係るイヌワシ・クマタカ調査委員会（第28回）」を開催しました。

平成30年の生活サイクル調査結果と平成31年の生活サイクルの保全対応方針並びに調査方針について報告及び提案し、審議していただいた結果、了承をいただきました😊



委員会開催状況



委員長挨拶



事務所長挨拶

<審議要旨>

○イヌワシ・クマタカの調査結果について

・平成30年度の工事実施による繁殖活動への直接的な影響は無かったと判断される。

○今後の保全対応方針

・工事箇所周辺における繁殖活動に関するモニタリングを引き続き実施する。

・工事による繁殖活動への影響が予想される場合には、委員会での意見を踏まえ、必要に応じ保護方策を実施する。

○今後の調査方針について

・事務局の調査方針を承認。新たな事実を確認した時など随時報告し、当委員会から指導を得たうえで対応する。



クマタカの巣





現場見学者数が大幅に増加！

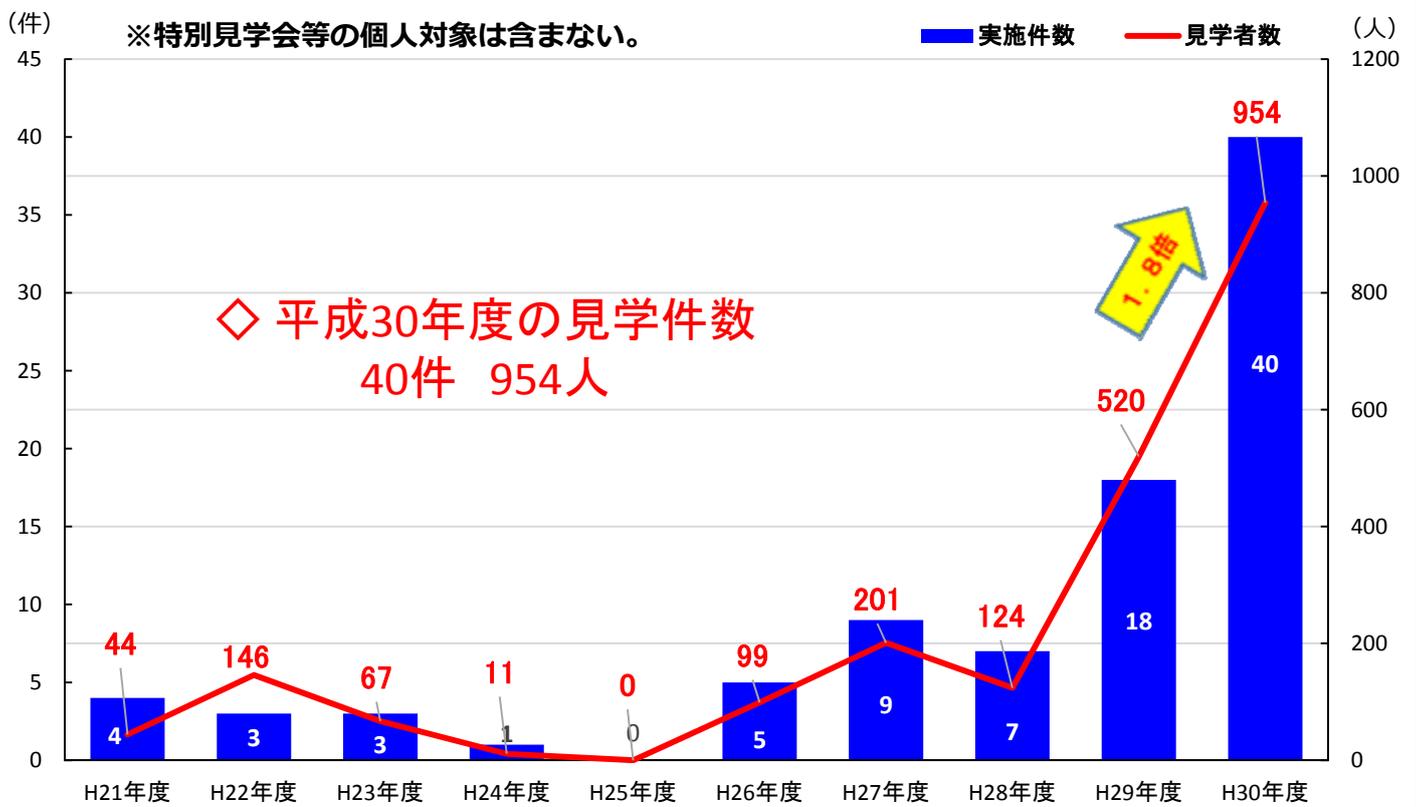


成瀬ダムでは、事業への理解を深めていただくとともに、インフラ（公共施設）を地域固有の財産と位置づけて、地域振興に資するインフラ活用の取組として、団体を対象に現場見学を受け入れています（個人を対象とした特別見学会や東成瀬村民対象の見学会なども開催しています）。

昨年度から、ダム建設工事が本格化し、**今年度の現場見学者数は「954人」**に達し、**対前年比で約1.8倍と大幅に増加**しました。

今シーズンの現場見学は終了しましたが、来年は引き続き基礎掘削を行い、堤体打設も予定しておりますので、是非見学にお越しください。**（来年の現場見学再開は4月下旬頃を予定しています）**

現場見学件数及び見学者の推移(過去10年)



現場見学開催状況



発行 国土交通省 成瀬ダム工事事務所 調査設計課

〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字宮田97-1

TEL 0182-23-8450(代表) FAX 0182-23-8449

URL <http://www.thr.mlit.go.jp/narusedam/>



成瀬ダム

検索

